

# 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道4号 水沢東バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局								
起終点	自：岩手県水沢市真城字東大深沢 至：岩手県水沢市佐倉河字十文字			延長	9.6km									
事業概要	<p>国道4号は、東京都中央区と青森県青森市を結び、広域交流の支援並びに沿線市町村の連携強化を図る幹線道路である。水沢東バイパスは、水沢市内を通過する国道4号の交通混雑の緩和、東北縦貫自動車道や東北新幹線水沢江刺駅へのアクセス向上を目的としている。</p> <p>S60年度事業化 S57年度都市計画決定 S63年度用地着手 H4年度工事着手</p> <p>全体事業費：約380億円 事業進捗率：47% 供用済延長：3.6km 計画交通量：29,800台/日</p> <table border="1"> <tr> <td>費用対効果分析結果</td> <td>B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 3.2</td> <td>総費用 (残事業)/(事業全体) 153/413億円 (事業費：119/379億円) (維持管理費：34/34億円)</td> <td>総便益 (残事業)/(事業全体) 482/567億円 (走行時間短縮便益：450/529億円) (走行費用減少便益：8/13億円) (交通事故減少便益：24/25億円)</td> <td>基準年 平成16年</td> </tr> </table>						費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 153/413億円 (事業費：119/379億円) (維持管理費：34/34億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 482/567億円 (走行時間短縮便益：450/529億円) (走行費用減少便益：8/13億円) (交通事故減少便益：24/25億円)	基準年 平成16年			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 153/413億円 (事業費：119/379億円) (維持管理費：34/34億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 482/567億円 (走行時間短縮便益：450/529億円) (走行費用減少便益：8/13億円) (交通事故減少便益：24/25億円)	基準年 平成16年										
感度分析の結果	<p>残事業・事業全体について感度分析を実施</p> <table border="1"> <tr> <td>【事業全体】</td> <td>交通量変動：B/C=1.5 (交通量+10%) B/C=1.2 (交通量-10%)</td> <td>事業費変動：B/C=1.3 (事業費+10%) B/C=1.4 (事業費-10%)</td> <td>事業期間変動：B/C=1.2 (事業期間+20%) B/C=1.5 (事業期間-20%)</td> </tr> <tr> <td>【残事業】</td> <td>交通量変動：B/C=3.5 (交通量+10%) B/C=2.8 (交通量-10%)</td> <td>事業費変動：B/C=2.9 (事業費+10%) B/C=3.4 (事業費-10%)</td> <td>事業期間変動：B/C=2.8 (事業期間+20%) B/C=3.5 (事業期間-20%)</td> </tr> </table>						【事業全体】	交通量変動：B/C=1.5 (交通量+10%) B/C=1.2 (交通量-10%)	事業費変動：B/C=1.3 (事業費+10%) B/C=1.4 (事業費-10%)	事業期間変動：B/C=1.2 (事業期間+20%) B/C=1.5 (事業期間-20%)	【残事業】	交通量変動：B/C=3.5 (交通量+10%) B/C=2.8 (交通量-10%)	事業費変動：B/C=2.9 (事業費+10%) B/C=3.4 (事業費-10%)	事業期間変動：B/C=2.8 (事業期間+20%) B/C=3.5 (事業期間-20%)
【事業全体】	交通量変動：B/C=1.5 (交通量+10%) B/C=1.2 (交通量-10%)	事業費変動：B/C=1.3 (事業費+10%) B/C=1.4 (事業費-10%)	事業期間変動：B/C=1.2 (事業期間+20%) B/C=1.5 (事業期間-20%)											
【残事業】	交通量変動：B/C=3.5 (交通量+10%) B/C=2.8 (交通量-10%)	事業費変動：B/C=2.9 (事業費+10%) B/C=3.4 (事業費-10%)	事業期間変動：B/C=2.8 (事業期間+20%) B/C=3.5 (事業期間-20%)											
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（現道における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の改善が期待される）</li> <li>国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する）</li> </ul> <p>他16項目に該当</p>													
関係する地方公共団体等の意見	<p>水沢東バイパスは、交通混雑の緩和、安全性の確保、沿道環境の改善等に重要な役割を果たすことが期待されており、岩手地区国道協議会より早期整備の要望（平成16年10月14日）を受けている。</p>													
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。</p>													
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>【執行済み額】 事業費：180億円（進捗率47%）うち用地費：80億円（進捗率50%）</p>													
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>事業進捗に係わる問題はなく順調に事業を進めており、平成17年度の国道397号～市道慶徳杉ノ堂線間L=1.0kmの暫定2車線供用を目標に事業推進を図る。</p>													
施設の構造や工法の変更等	<p>暫定2車線施工により初期投資の削減を図っている。</p>													
対応方針	事業継続													
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
事業概要図	<p>一般国道4号 水沢東バイパス</p>		<p>事業再評価 一般国道4号 水沢東バイパス L=9.6km</p> <p>凡例</p> <table border="1"> <tr> <td>■</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>うち供用中</td> </tr> </table>				■	供用中	■	再評価箇所	■	うち供用中		
■	供用中													
■	再評価箇所													
■	うち供用中													

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。